



一中だより

令和6年度 第5号 令和6年5月31日(金)

運動部の3年生にとっては最後の中体連の大会 各部の健闘を祈っています 一中がんばれ！

今年度から中体連春季大会と総合体育大会が統合され、例年よりも1か月早い6月に市中体連総合体育大会が実施されます。この開催時期の変更を受けて、本校では5月24日の午後、PTA・部活動後援会本部役員や学年委員の方が臨席されたなかで市総体激励会を体育館で実施しました。現在、体育館は空調設備工事を行っておりますが、激励会の時間に限って作業を中断し養生範囲をできるだけ狭くしてもらうことで、何とか全校生徒が一堂に会することができました。また、当日は午後から気温・湿度が上昇しましたので、大型扇風機を稼働させ換気等をしっかり行うなど熱中症対策や感染症対策に十分に配慮しました。



会では、大会へ向けた各部(もしくは各人)の決意表明、続いて応援団による激励が行われ、健闘を誓い合いました。各部の決意は、いずれも『高きを目指す一中生』にふさわしい内容でした。また、今回の応援団は1・2年生を中心に募った有志による、本校の中体連旗を掲揚しながら大太鼓を叩いて各部の活躍を祈念したシンプルなものではありましたが、一方で激励会にふさわしい質実剛健さを感じました。全体を通して、生徒同士が直接に顔を見合わせ直に声を掛け合うことで、全校生徒の力を結集することができ、一中が一つになった大変盛り上がりのある会になりました。

夏の総体は、運動部に所属する3年生にとって最後の大会であり、中学校での部活動の集大成となります。是非、これまでの練習の成果を十分に生かし、自らの持てる力を余すことなく全て発揮して欲しいと願っております。そして、大会を締めくくる際には悔いの残ることのない成就感で満ちあふれた思いで終わることができるよう頑張ってください。

皆が全力を出し切り、健闘してくれることを期待しています。

なお、文化部激励会ならびに県総体激励会については、7月上旬に行う予定です。

<保護者の皆様へのお願い>

11月17日(日)に、「PTA資源回収・リユース販売会」を予定しております。資源回収につきましては、**昨年同様に金属類の回収**も予定しております。ただし、11月17日までは日もあり、長期間にわたり各ご家庭で保管していただくことは大変と思います。そこで、**毎週金曜日に実施している、生徒会資源回収の際に、僕かずつでも結構ですので、お子さんにアルミ缶を持たせていただくと結果的にはより多く集まると考えております。**これから暑い時期を迎え、飲み物等のアルミ缶も多数出ることと思います。その際には捨てることなく、是非、学校の資源回収にご協力ください。資源回収で得た収益は、部活動における活動費等、学校での教育活動の原資として生徒へ還元いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

講演会等で話をしっかりと聞けるよう配慮しています

生徒が教室で使用する机・椅子の脚にテニスボールを装着していることは、昨年度の令和6年1月に一中だよりでお知らせしました。現在、このことに関わって新たな取組を始めています。それは、「1単位時間<50分間>程度もしくはそれ以上の講演会や講習会などを体育館で行う際には、可能な限り、自分の椅子を持参し着席して参加する」よう



試行的に実施している、ということです。(ただし、朝の学年集会などの短時間なものや集合の形態を頻繁に変える集会等については従前どおりです。)これまでは体育館の床面保護の観点等から、原則としてシートを引かないと金属製のパイプ椅子や教室の椅子を体育館で使用することは難しい状況でしたが、机・椅子の脚にテニスボールを装着したことで可能となりました。

この度の試行によって、自分の椅子に座ることで床面に当たる痛い思いや屈んだ体形での窮屈な思いをせずに姿勢よく講話等をしっかりと聞くことができ、講演会や講習会の開催効果が高まると期待しています。全ての人が生きやすくする為のデザインといった『ユニバーサルデザイン』の観点からもふさわしいと考えております。椅子を教室から体育館へ持ち込むことなどによる課題(時間的に余裕がない忙しさ、多人数での安全で速やかな移動の困難さ、集会形態の変更に係る煩雑さ等々)は未だ残っておりますが、「生徒ファースト」の視点や集団と個のバランスを大切にしたい改善の一環として、さらによりよい取組にしていきたいと考えております。

『挨拶の一中』実現へ、あいさつ運動も一工夫

ひとくふう

毎朝、学級委員と生徒会本部役員の生徒たちが「あいさつ運動」に取り組んでいます。そのようななかで、校舎北のロータリー付近での運動(活動)だったため、あいさつを交わす距離が遠かったり自転車で登校する生徒が多かったりして「あいさつしているのに分かってもらえない」「あいさつしてもすぐに去ってしまう」「相手にあいさつの声が届きにくい」などといった思いが生じたようです。そこで、**生徒たち自身の発案から、右の写真のとおり、あいさつ運動を行う場所を各学年の生徒玄関入口へ変更して行うことにしました。**(雨天時でも生徒玄関付近の校舎内で行えるようになりました。)



この取組は昨年度末に試行し効果的と判断して、今年度は年度当初から実施しています。先日、様子をうかがったところ、以前よりもあいさつを交わす生徒の数は増えているように感じました。生徒自身が、「強いられている」ではなく「自ら行っている」と捉えて工夫したことも非常に嬉しくまた頼もしく感じています。各々が学校生活の向上について主体的に考えることで、全体を鑑みながら各自が生活しやすい環境をますます創りあげて欲しいと願っています。

